

北陸地方整備局
新潟港湾空港技術調査事務所

記者発表資料

発表日時

令和7年10月14日

全国初「自動係留装置導入ガイドライン(案)」策定 ～自動係留装置の導入・運用に向けて～

北陸地方整備局新潟港湾空港技術調査事務所では、福井県敦賀港において国内の公共岸壁で初めて吸着式自動係留装置を試験的に導入し、実用化に向けて検討してきました。今般、検討で得た知見をとりまとめ、「吸着式自動係留装置導入ガイドライン(案)」として公表します。

従来の係留方式は、主に係留索（ロープ）を用いた方法でしたが、海外では自動係留装置を利用した離着岸が実用化されています。吸着式自動係留装置は、船舶の離着岸における作業時間の短縮、作業者の負担軽減、さらには係留索破断による事故の発生リスク等の低減が見込まれることから、令和元年度より実用化に向けて検討してきたものです。

今後、本ガイドライン（案）が同装置の導入・運用に活用され、本技術の普及・発展に寄与することが期待されます。

- 「吸着式自動係留装置ガイドライン(案)」は新潟港湾空港技術調査事務所ホームページより入手可能です。

(<https://www.gicho.pa.hrr.mlit.go.jp/gyomu/mirai/zidoukeiryuguideline/index.html>)

- 吸着式自動係留装置実証試験の動画は、下記にてご覧いただけます。（YouTube リンク）

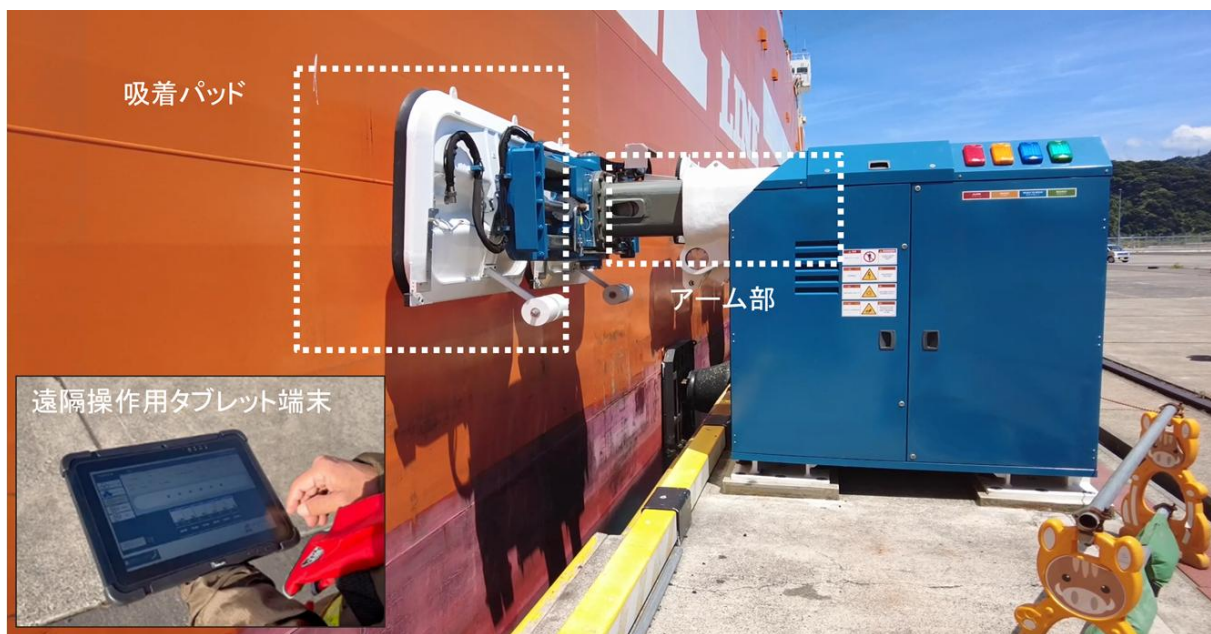
(https://youtu.be/YYWb_MoDjQA?si=_mHVFm2nyRi_noJq)

【同時発表記者クラブ】

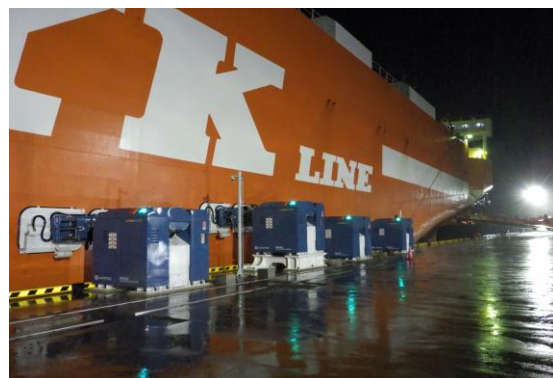
福井県政記者クラブ
敦賀市記者クラブ
専門紙

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局
新潟港湾空港技術調査事務所
副所長 山下 竜巳^{やました たつみ}
技術開発課長 山下 裕之^{やました ひろゆき}
TEL:025-222-6115



自動係留装置（吸着式）



敦賀港（鞠山南地区）自動係留装置現地実証試験の様子